

銀行名	北海道銀行
タイトル	ファンドを利用したベンチャー支援の取組み事例
取組み内容	<p>【動機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント運営・企画業者のA社（既往融資先）が、大型ドームテントを製作するとの情報を営業店で入手。製作するテントは、全国主要都市での大規模イベント開催などに利用され需要が幅広く見込めるものの、新規事業としては製作費用が当社の業容に比して大きく、回収条件が悪いこと（回収サイトが長期）から、事業の実現可能性および資金調達が課題であった。 ・ 営業店は、地域活性化に寄与し、収益性・成長性のある事業へのリスクマネー供給という観点から、支援する方法はないか本部に相談があったもの。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本部担当者が、A社のビジネスモデル（差別性・収益性・成長性・事業リスク等）について直接ヒアリングを実施し、業界分析および事業計画の精査を合わせて行った。A社にとって前例のないテント製作となるが、A社のノウハウ・技術力から製作は充分可能で、かつ、資金の回収サイトが長いものの、受注先の信用調査から当該事業における資金回収に懸念が小さいことがわかり、事業計画の実現可能性は高いと判断。 ・ 当行が持っている ABL のノウハウを活用し、本事業から生じる売掛債権に対して債権譲渡担保を設定することで、資金用途の確認、返済原資の確保が可能になり、「札幌元気チャレンジファンド」() から社債の投資を実行し、安定した資金供給が実現した。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当社の回収サイトに合わせた資金調達が円滑に実現できたことにより、新規事業による業容拡大が期待される。 ・ 札幌市の文化イベントを道外に発信することが可能となり、地域活性化に資する取組みとなった。 ・ ファンド投資に ABL を組み合わせる手法は、当行では初めての取組みであり、今後の企業支援活動の幅が広がった。 <p>札幌元気チャレンジファンドの概要 IPO を目指さない先に対しても支援できるファンドという趣旨で、当行を含む金融機関やさっぽろ産業振興財団などが出資し設立されたファンド。</p>

銀行名	北海道銀行
タイトル	ノーベル賞受賞技術を生かした大学発ベンチャー企業支援
取組み内容	<p>【取組経緯・状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バイオ研究の進展により、医薬・創薬開発の分野では、生理活性を持つタンパク質や核酸などの生体分子をラベリング（蛍光発色）し、光励起により観察を行っている。しかし、従来の蛍光色素は紫外線等の領域で発色する色素が多く、タンパクや細胞がダメージを受けることが懸念されていた。 ・ 大学発ベンチャー企業である A 社は、ノーベル賞を受賞した鈴木-宮浦クロスカップリング法などの有機化学合成技術を用いて可視光で励起が可能な新規蛍光色素の開発に成功。この色素は毒性も少なく、創薬分野で研究が進んでいるペプチドや抗体医薬品の作用機序解明、再生医療分野の細胞染色、菌染色、ペプチド、抗体等のタンパク質への標識化などの用途で利用が期待されている。 ・ 当行はこうした研究を支えている公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（略称 ノーステック財団）との産学官金連携により A 社技術の先進性に着目していた。しかし、アーリーステージ段階にある A 社の研究開発を事業化するには金融セクターによる継続的な資金支援が必要となっていた。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そこで、当行は北海道ベンチャーキャピタル(株)と共同設立した「道銀どさんこ 2 号ファンド」により、研究・生産設備取得費および特許取得費として平成 2 4 年 3 月に第三者割当増資を引き受けした。 ・ 平成 2 4 年 1 2 月、A 社は上場企業である B 社と総代理店契約を締結した。B 社は iPS 細胞の販売実績もあるバイオテクノロジー関連企業を代表する遺伝子研究用試薬大手。A 社は B 社との相乗効果による販売拡大が期待される。 ・ 当行は平成 2 5 年 6 月に研究開発費として、補助金入金までのつなぎ資金、資金繰りを安定させるための長期資金を融資した。 ・ 平成 2 6 年 3 月には、当行に事務局を置く公益財団法人北海道銀行中小企業人材育成基金が募集した『新技術・新製品研究開発助成金』において、A 社が申請した「大腸菌・大腸菌群検出のための高感度蛍光検出試薬の開発」が採択された。 <p>【取組み成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行は A 社のステージに応じた資金ニーズに対応。法人設立以降、安定して研究開発に取り組んでいる A 社は売り上げを順調に伸ばしている。 ・ なお、「大腸菌・大腸菌群検出のための高感度蛍光検出試薬」は簡便で短時間なオンサイト（現場分析）大腸菌検査キットの開発を目指すもの。キットの検出時間は従来の 6 分の 1 となるうえ、ブラックライトを当てると蛍光色素が発色するため視認性も良い。開発後は水質検査や食品加工等で使用されることを目指しており、今後も A 社の事業拡大が期待されている。

銀行名	北海道銀行
タイトル	北海道寒冷地住宅のクオリティをロシアへ売り込む（道内ハウスメーカーの例）
取組み内容	<p>< 背景 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行の声かけにより、RIT事業（JETROの地域間交流支援事業）にA社が参加。当事業の活動を通じ、サハリン、大陸ロシアを数回訪問。当行からの情報提供及び視察等を通してロシアの新築マンションはスケルトン渡りで、内装は購入した個人が行うのが一般的ということが判明。ロシアには一括してマンション内装を請け負う業者がなく、トイレやキッチンを自ら購入し、それぞれ専門の施工業者に依頼することとなる。当社はここにビジネスチャンスを感じ、まずは内装全般のデザイン設計から施工、アフター保証までワンストップでできる内装事業を計画。建材は一部日本製を活用し、クオリティの高い日本式内装を提供するというビジネスモデルとした。 ・ ただ、ロシアでの商売の進め方についてはよくわからないとのことより、各種情報提供（現地法人設立や資金決済面、不動産情報、人材確保等）について当行によるサポートが不可欠であった。 <p>< 当行としての支援内容 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 当社社長の数回に渡る訪口を当行海外駐在員事務所が全てアテンド。 当行本部より現地法人設立のための専門コンサルタント会社（日本国内）を紹介。 日本式内装を知ってもらうべく、モデルルームにてロシア人にPRしたいとの当社意向より、モデルルーム用マンションについての不動産情報を提供。マンションの1室を購入するに至った。 購入資金についても、契約書を当行がチェックした結果、ルーブル建て送金でなければならないことが判明し、送金事務についても営業店および本部がサポート。 現地法人の社長になる地元の人材を紹介した。 <p>< 今後の方針 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記の通り、営業店、国際部、海外駐在員事務所の連携でスタート時点から、現地でのアテンドや不動産情報、地元の人材を紹介する等きめ細かなサポートを行ってきた結果、当行海外駐在員事務所があるウラジオストク市に現地法人を設立し、モデルルームを作成した。 ・ 将来的には北海道の寒冷地技術を活用した戸建住宅事業にも進出したいとのビジョンを持っており、今後も各種情報提供や日口間の資金決済面で全面的に支援継続し進めていく方針。

銀行名	北海道銀行
タイトル	「どうぎん 親子で銀行体験」
取組み内容	<p>【動機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普段、銀行に接する機会の無い子供たちを対象に、「銀行体験」を提供し、広く金融経済教育を行うことで、地域金融機関としてCSR活動の一環として実施しているもの。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道内の子供たちが参加しやすいように、小学校の夏休みと冬休みの時期に、保護者と共に集まっていただき、下記のカリキュラムで金融の仕組みや支店の見学会などを実施している。 ・ また、第1回は本店営業部のみの開催であったが、参加者の声を反映しながら、より多くの子供たちが参加できるように、順次開催都市を拡大し、現在では道内9都市で開催している。 <p>主なカリキュラム</p> <ul style="list-style-type: none"> 1億円や硬貨袋を持ち上げる体験 営業室・貸金庫見学 お札の数え方教室 硬貨選別機体験 <p>【取組み成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまで通算9回実施しており、参加者だけではなく保護者からも非常に好評を得ている。 ・ 昨年度は道内の主要9都市で実施し、各地のマスコミに取り上げられるなど、地域のイベントとして定着してきている。

北海道銀行で銀行のヒミツをいろいろ体験しよう!

1 1億円体験



1万円札が
1万枚もあるよ!

2 硬貨袋体験



硬貨が
ずっしり入って
重たいよ!



3 札勘体験

お札を正確に数えることが
できるかな?



小学生と
保護者の方対象

どうぎん

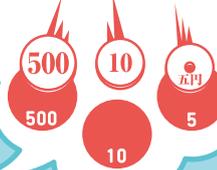
親子で
銀行体験



北海道銀行

4 硬貨選別機
体験

硬貨をあっという間に
分けてしまおう!



5

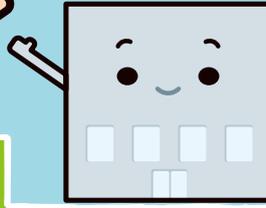
貸金庫室見学

大きな扉に
びっくり!
銀行ってすごい!



参加無料

参加には事前の
お申込みが必要と
なります。



[開催場所・日程] 道内9店舗にて開催いたします。

各店・各日 10組 / 時間 9:30~11:30

北見支店

北見市北1条
西1丁目1番地

8月
1日

函館支店

函館市
本町7番18号

8月
1日

旭川支店

旭川市2条通
9丁目228番地

8月
4日

室蘭支店

室蘭市中島町
1丁目22番5号

8月
4日

帯広支店

帯広市
西3条南9丁目1番地

8月
5日

苫小牧支店

苫小牧市
表町2丁目1番14号

8月
5日

釧路支店

釧路市北大通
8丁目2番地

8月
6日

小樽支店

小樽市
稲穂2丁目8番9号

8月
6日

本店営業部

札幌市中央区
大通西4丁目1番地

8月
7日 8日 11日

参加には事前のお申込みが必要となります。▶ お申込み締切日:平成26年7月25日(金)

参加希望のお客様は当行ホームページ
「イベントのお申込み」よりお申込みください

▶ <http://www.hokkaidobank.co.jp/>



※必ず保護者の方1名以上の同伴が必要です。
※お申込みは、先着順とさせていただきますのでご了承ください。
先着当選のご連絡は、発送をもってかえさせていただきます。
※お申込みをいただきました参加希望日時につきましては、調整
をさせていただく場合がございますのでご了承ください。

ご参加当日にお子様名義でのお口座開設をご希望の方は、
以下の書類と現金をご持参ください。

- ①お客様の親権者であることが確認できる公的な書類(住民票・健康保険証など)
- ②お客様の本人確認書類(住民票・健康保険証など) ③ご印鑑(シャチハタ以外)

詳しくはホームページ、またはお近くの北海道銀行 本・支店までお問い合わせください。



北海道銀行 経営企画部 広報CSR室
「親子で銀行体験」事務局

Tel.011-233-1005

〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地



北海道銀行

銀行名	北海道銀行
タイトル	「ミニほっかいどう銀行開設」
取組み内容	<p>【動機】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道内の各地で、会場を「仮想のまち」に見立て、参加する小学生が様々な職業を擬似体験することで、働くことの楽しさや給料を得る喜びを体感するイベントが開催されており、当行には「銀行」として、参加の要請がある。 当行はイベント趣旨に賛同できることから、地域金融機関として参加意義があると判断し、積極的に取り組んでいる。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加する子供たちの就職先のひとつとして「ミニほっかいどう銀行」を設置している。 「ミニほっかいどう銀行」の主な仕事 他の出展企業の依頼に基づき、企業へ給与（模擬紙幣）を届ける仕事 売り上げ代金を集金し、窓口で入金する仕事 銀行員として必要な業務スキルを身につけることができる「ミニほっかいどう銀行研修センター」を設置している 「ミニほっかいどう銀行研修センター」での研修内容 お金の数え方（札勘） 加算機の打ち方 <p>【取組み成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職業体験イベントは全道各地で実施されており、子供や保護者から期待の高い事業となっている。当行が提供するブースも毎回、満員になる他、複数回参加してくれる子供もあり、銀行業務に対する関心を高めることができた。

銀行名	北海道銀行
タイトル	「エコノミクス甲子園北海道大会開催」
取組み内容	<p>【動機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ N P O 法人金融知力普及協会は金融経済を楽しみながら学ぶ機会を高校生へ提供する試みとして、全国高校生金融経済クイズ選手権を開催している。 ・ 当行は次世代を担う高校生への金融教育に資するものと考え、北海道大会が初めて開催されるにあたり、共催として、運営全般を担うことを決めた。 <p>【取組み内容】</p> <p>エコノミクス甲子園北海道大会の運営全般。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行が保有している研修所を大会の開催場所として提供。 ・ 当行の店舗網を活用し、北海道内の高校へ開催の周知を徹底。 ・ 図書館など高校生が集まる施設へのポスターの掲示やチラシを設置。 ・ 金融知力普及協会ホームページより参加申込可能となるように、当行ホームページに「エコノミクス甲子園」のバナーを掲載。 ・ 金融のプロとして、金融経済にかかるクイズを提供。 ・ 大会当日は行員からボランティアを募り、司会や画面操作など、進行を補助。 <p>【取組み成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加した高校生からは「金融経済が身近に感じられた」「興味が非常に湧いた」など、大きな反響があった。 ・ 当行では小中学生に対する職場体験学習、大学生に対するインターンシップは数多く実施しているものの、高校生向けのプログラムがなかったことから、C S R 活動(金融教育)の一環として、大変有意義なものとなっている。 ・ 平成 20 年度から北海道で開催されるようになってから、高校の間でエコノミクス甲子園は徐々に浸透してきており、平成 25 年度は参加高校、参加チーム共に過去最高となった。



特定非営利活動法人
金融知力普及協会
 Association for the Promotion of Financial Literacy

**金融知力で
 世界を目指せ!!**

全国で開催! 目指せ! ニューヨーク!



**参加
 無料**

第八回 全国高校生金融経済クイズ選手権

エコノミクス甲子園

2013 北海道大会 **12/8** 日 開催 

開催場所 北海道銀行ほしみ研修センター



第八回 全国高校生金融経済クイズ選手権

エコノミクス甲子園

<http://econ-koshien.com>

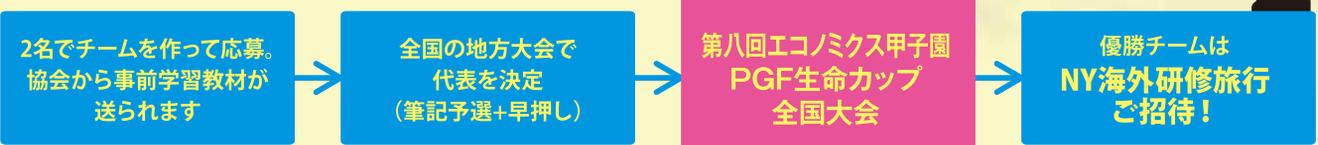
参加者募集中!

金融
知力

金融知力ってなに?

金融知力とは、お金儲けの為の知識ではありません。世の中はどのような金融経済の仕組みで動いているかを理解し、夢の実現と生活防衛のために活かす力です。これから世の中に羽ばたくみなさんに、「金融知力」をしっかりとってもらう為に、楽しく学べるイベントを開催します。全国の高校生の皆さん、奮ってご参加ください!

大会の主な流れ



募集要項

- ・ 同一高校の現役の生徒2名で申込みしてください。
 - ・ 年齢、学年、性別等は問いません。
 - ・ 高専の場合は、入学してから3年間までの生徒に限ります。
 - ・ 同一高校から何チーム出場してもOK。
 - ・ 地方大会の会場までの交通費等は自己負担です。
- (東京で開催予定の全国大会出場の際は、新幹線代・飛行機代・宿泊費を主催者が負担します)

参加までの流れ

1. ホームページに必要な事項を入力して応募してください。
 2. エントリーカードと事前学習教材が送られます。
 3. エントリーカードに必要な事項を記入の上、ご返送下さい。
- ※当日は、生徒手帳を忘れずにお持ちください。

応募は
ココから



昨年はこんな問題が出題されました

Q. 収入の多い人には高い税率が課せられ、少ない人には低い税率が課せられる租税は?

- ①石油石炭税 ②所得税 ③法人税 ④消費税

A. ②所得税

所得税は個人間の所得の不公平を是正するために、所得額に応じて税率を変え、高額所得者に多くの税を負担させ、低所得者には少ない税を負担させる累進課税制度を採用している。したがって正解は②。③の法人税は、企業利潤に一律の税率で課税するので累進課税制度とはいえない。①・④の石油石炭税、消費税は間接税で、課税対象が生活必需品に及ぶ場合は、低所得者ほど税負担が重くなるという点で問題がある。

Q. 貿易が拡大すると、世界的に起こりやすい現象は?

- ①生産が増す ②相互の依存が減る
③失業者を生み出す ④生活水準が下がる

A. ①生産が増す

貿易の拡大は比較優位による国際分業を進めることになり、世界的に生産を増大させるから、正解は①。各国間の貿易の拡大は、いっそうの相互依存関係を深めるから②は誤り。また、生産の増大は雇用を生み、生活水準が向上するので③・④も誤り。

Q. 上場会社の関係者などが、会社に関連する重要事実を公表される前にその会社の有価証券の売買をすることをなんといいのでしょうか?

A. インサイダー取引

この取引は、公正な価格形成を妨げるだけでなく、有価証券市場に対する投資家の信頼を損ね、ひいては有価証券市場の健全な発展を阻害することになるため禁止されている。

もし、どうしても地方大会当日に都合がつかない場合は、インターネット大会に参加できるぞ!

- インターネット大会の代表は全国から1チームです。 ● 地方大会とネット大会への重複エントリーはできません。
- 同じ学校内のチームが地方大会に優勝した場合、ネット大会に優勝してもネット大会の代表になれません。この場合、ネット大会の次の順位のチームがネット大会代表となります。

北海道大会

開催日時 平成25年12月8日(日) 午前10時30分～午後3時
 開催場所 北海道銀行ほしみ研修センター(札幌市手稲区星置南4丁目43番5号)
 お問い合わせ先 北海道銀行経営企画部広報CSR室(011-233-1005)
 後援 北海道教育委員会

募集定員

30 チーム
(60名)



銀行名	北海道銀行
タイトル	「職場体験・インターンシップ」
取組み内容	<p>【動機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行は次世代を担う若い世代への金融教育を通じ、中長期的な地域活性化に貢献できると考えており、その一環として、小中学生を中心に職場体験の受け入れや高校生や大学生を対象としたインターンシップ制度に積極的に取り組んでいる。 <p>【取組み内容】</p> <p>職場体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1日で銀行の基礎を理解してもらえるカリキュラムを策定 ・ 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> - 金融の基礎を学ぶオリエンテーション - 営業店貸金庫見学 - 営業店金庫室見学 - 営業店ロビー見学 <p>インターンシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25年度は本店で、数日間のインターンシップを実施。 ・ 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> - 専門部署による多様化している銀行業務についての講義。 - 営業店実習では金庫室や貸金庫室など普段入ることができない施設を見学。 - 高校生や大学生と行員の意見交流会。 <p>【取組み成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場体験を申し込み件数は年々増加傾向にあり、地域貢献の一助となっていると考えている。 ・ インターンシップ制度においても、毎年、定員を上回る募集があり、一定の評価を得ていると考えている。 ・ また、最近は道外の学生の参加もあり、多様な学生が集まることで、参加している学生がよい刺激を受けている。